

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2014-137659(P2014-137659A)

【公開日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2013-5077(P2013-5077)

【国際特許分類】

G 05 B 23/02 (2006.01)

【F I】

G 05 B 23/02 302S

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月27日(2015.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プラントにおける同じ被計測量を第1の計測器と第2の計測器とで計測し、上記第1の計測器の計測出力と上記第2の計測器の計測出力とを比較して上記計測器の異常を判定する異常計測器判定システムであって、上記第1の計測器の計測出力の変化率と上記第2の計測器の計測出力変化率との差に依存して上記計測器の異常を判定することを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項2】

請求項1に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記第1の計測器の計測出力と上記第2の計測器の計測出力との差が閾値を超えたことを検出しこの検出に基づいて上記計測器の異常を判定することを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項3】

請求項2に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記閾値の大きさが上記第1の計測器の計測出力の変化率と上記第2の計測器の計測出力変化率との差に依存していることを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項4】

請求項1～請求項3の何れか一に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記第1の計測器の計測出力と上記第2の計測器の計測出力が蓄積されると共に上記第1の計測器の計測出力の変化率と上記第2の計測器の計測出力変化率との差に依存して上記計測器の異常を判定した結果が表示されるプラント監視サーバ、および上記第1の計測器の計測出力の変化率と上記第2の計測器の計測出力変化率との差に基づいて上記計測器の異常を判定する機能を有する設備情報サーバが設けられていることを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項5】

請求項1～請求項4の何れか一に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記計測器の異常を判定し当該異常が所定期間継続すると上記計測器が故障であると判定することを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項6】

請求項4に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記計測器の異常を判定し当該異常が所定期間継続すると上記計測器が故障であると判定する機能を設備情報サーバが有し

、上記計測器が故障であると判定した結果が上記プラント監視サーバに表示されることを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項 7】

請求項 4 ~ 請求項 6 の何れか一に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記判定の条件が、上記第 1 の計測器の計測出力と上記第 2 の計測器の計測出力が蓄積されると共に上記第 1 の計測器の計測出力の変化率と上記第 2 の計測器の計測出力変化率との差に依存して上記計測器の異常を判定した結果が表示されるプラント監視サーバから、上記第 1 の計測器の計測出力の変化率と上記第 2 の計測器の計測出力変化率との差に基づいて上記計測器の異常を判定する機能を有する設備情報サーバに設定されることを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項 8】

請求項 4 ~ 請求項 7 の何れか一に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記第 1 の計測器の計測出力の変化率と上記第 2 の計測器の計測出力変化率との差に基づいて上記計測器の異常を判定する機能を有する設備情報サーバに、上記計測器および上記計測器と同じ種類の他の計測器のそれぞれのメーカー名、型番、納入年月日の少なくとも一が設備情報として登録されていることを特徴とする異常計測器判定システム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の異常計測器判定システムにおいて、上記第 1 の計測器の計測出力と上記第 2 の計測器の計測出力が蓄積されると共に上記第 1 の計測器の計測出力の変化率と上記第 2 の計測器の計測出力変化率との差に依存して上記計測器の異常を判定した結果が表示されるプラント監視サーバに、上記計測器の異常の表示と併せて上記設備情報が表示されることを特徴とする異常計測器判定システム。